

叙勲受章の榮譽に輝く

平成21年春の叙勲で藤川八郎さん（早来大町在住）が瑞宝双光章を受けました。

藤川さんは昭和36年に早来町消防団に入り、45年間地域住民の生命や財産を守ってきました。この間、平成5年4月に早来消防団副団長、平成10年から18年3月26日まで同団長に就任。また、平成15年から3年間北海道消防協会評議員も勤めています。

なっていました。

昭和62年11月28日深夜に早来市街の飲食店から出火した火災は延焼を拡大。藤川さんは建物の被災状況や要救助者の有無などを迅速に対応し、消火活動に専念。一人の負傷者も出さず、被害を最小限に食い止めました。現場における適確な指揮と沈着冷静な行動の賜物と言えます。

長い消防団活動の中で得た豊富な知識と経験を下に団員の育成にも尽力し、早来消防団長を最後に退団しました。現在は早来消防後援会理事として地域のために活躍されています。



全道空手大会で見事ベスト8

——日頃の稽古の成果が実を結ぶ——

全道からおよそ700名の少年少女選手が参加した「第29回北海道少年少女空手道練成大会」（北海道空手道連盟主催）が5月10日、千歳市開基記念武道館で開催され、清心館追分道場（師範高橋 剛さん）に所属している高橋茉生乃さん（追分小6年）が小学6年生の部の種目『女子・個人形』で第5位となり、見事ベスト8入りを果たしました。

大会には一人1種目しか出場できないもので、高橋さんは「空手は小学2年生の時にお母さんに勧められて始めました。入賞したのは初めてで、とても感動しました。この次は3位以内に入れるようこれからも頑張りたいです。」と笑顔の中にも次の大会に向けての決意を話してくれました。道場には現在子供33人を含め45人が所属。毎週4回町内4か所で稽古しており、高橋師範は「道場の子供たちが全道大会でメダルが取れるよう、これからも稽古に励みたいですね。」と決意を新たにしていました。



北海道善行賞を受賞

5月8日ポールスター札幌において、北海道優良母子家庭表彰式が行われ、渡辺久美子さん（追分中央）が北海道善行賞を受賞しました。

渡辺さんはご主人の死亡後、二人のお子さんを立派に養育。学校行事や子ども会活動などにも積極的に参加し、他の母子家庭の模範として現在も活動しています。

また、平成9年から18年まで母子寡婦会理事を務め、その後も書記として会の運営に尽力しました。



高橋はるみ知事から表彰状を受ける渡辺さん（写真左）